

葛飾区子ども・子育て支援ニーズ調査の結果要点

目次

○未就学児童の保護者（有効回答数 3,618）	1
1. 回答者の基本属性（回答者9割以上が母親）	1
2. 子育てに関する人のつながりについて	4
3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	7
4. 地域の子育て支援事業（子育てひろば）の利用状況について	10
5. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	11
6. 子どもの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	13
7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	14
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（子どもが5歳以上の方）	16
9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	18
○未就学児童の保護者アンケートにおける自由意見（主なもの）	22

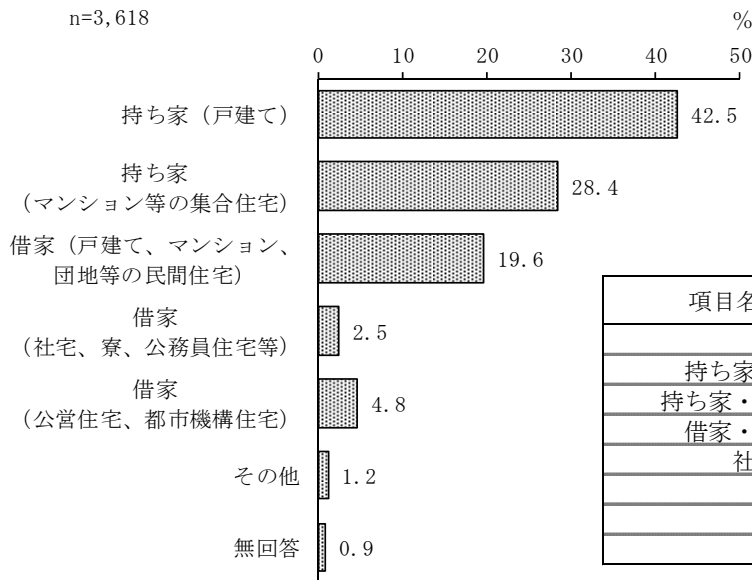
この資料は、「葛飾区子ども・子育て支援ニーズ調査 報告書—子育て支援施設の利用希望等に関する調査—」についての結果要点をまとめたものです。

○未就学児童の保護者（有効回答数 3,618）

1. 回答者の基本属性（回答者9割以上が母親）

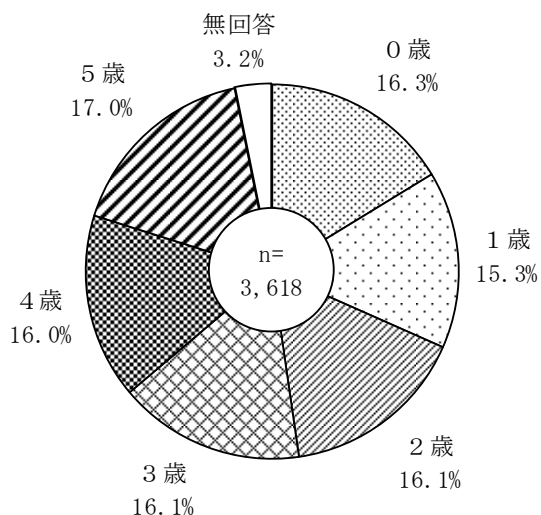
- 「持ち家・戸建て」もしくは「持ち家・集合住宅」で7割となり、定住意向が高いと推察される。
- 1人もしくは2人きょうだいの構成が7割を超える。
- 主に子育てをしているのは「父母ともに」「母親」で2分されるが、実質的には「母親」と解釈する。
- 母親の就労状況は、「フルタイム」「パート・アルバイト等」「以前は就労、現在は働いていない」に3分される。母親の有職率で見ると、産休等の休業中を含め5割を超えている。
- 安心して子育てができる環境についての保護者（実質的には母親）の評価は、「良い」3割強、「普通」4割強であるが、一方で「やや悪い」の評価が1割ある。

問2 住まいの形態 報告書4ページ



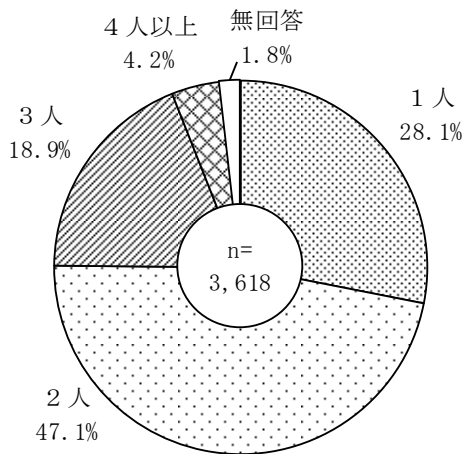
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	3,618	100.0
持ち家・戸建て	1,539	42.5
持ち家・集合住宅	1,028	28.4
借家・民間住宅	709	19.6
社宅・寮等	92	2.5
公営住宅	172	4.8
その他	45	1.2
無回答	33	0.9

問3 子どもの年齢 報告書5ページ



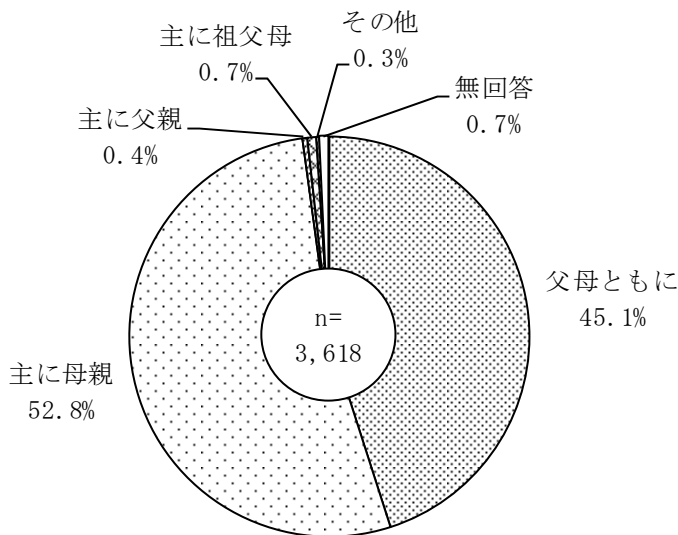
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	3,618	100.0
0歳	590	16.3
1歳	554	15.3
2歳	582	16.1
3歳	584	16.1
4歳	579	16.0
5歳	614	17.0
無回答	115	3.2

問4 きょうだい数 報告書5ページ



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	3,618	100.0
1人	1,016	28.1
2人	1,703	47.1
3人	682	18.9
4人以上	152	4.2
無回答	65	1.8

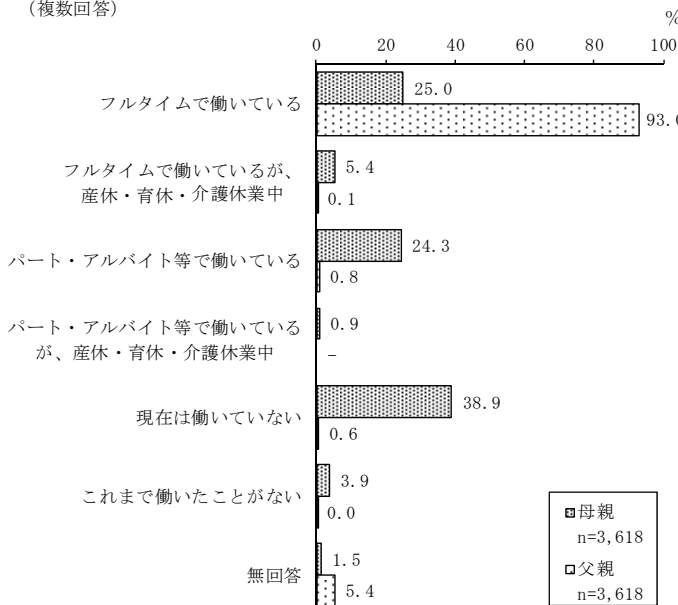
問7 主に子育てを行っている方 報告書7ページ



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	3,618	100.0
母とも	1,910	52.8
父とも	1,630	45.1
主に母親	14	0.4
主に父親	26	0.7
主に祖父母	11	0.3
その他	27	0.7
無回答	27	0.7

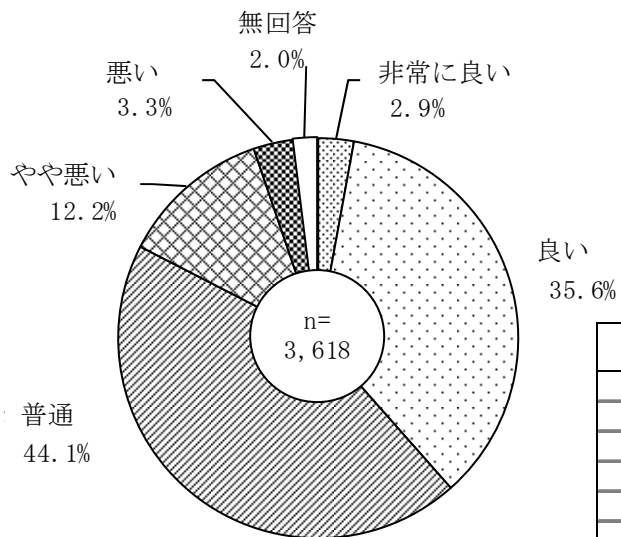
問14 保護者の就労状況 報告書17ページ

(複数回答)



項目名	母親		父親	
	集計値	構成比 (%)	集計値	構成比 (%)
全体	3,618	100.0	3,618	100.0
フルタイム	904	25.0	3,365	93.0
フルタイム・産休・育休・介護休業中	195	5.4	5	0.1
パート・アルバイト等	880	24.3	30	0.8
パート・アルバイト等・産休・育休・介護休業中	33	0.9	-	-
以前は就労・現在は働いていない	1,409	38.9	22	0.6
これまで働いたことがない	141	3.9	1	0.0
無回答	56	1.5	195	5.4

問34 葛飾区の子育て環境・支援の満足度 報告書103ページ



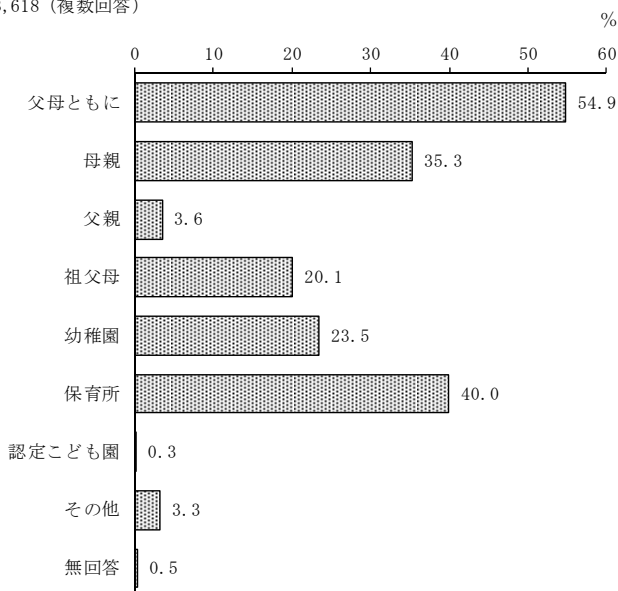
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	3,618	100.0
非常に良い	104	2.9
良い	1,288	35.6
普通	1,595	44.1
やや悪い	442	12.2
悪い	118	3.3
無回答	71	2.0

2. 子育てに関する人のつながりについて

- 子育てに日常的に関わっているのは、父親や母親に加えて、幼稚園と保育所となる。
- 子育てにもっとも影響があると保護者が思うのは、第一に家庭で、次いで保育所、幼稚園、地域をあげる。子どもの普段の日常で接する環境すべてである。
- 日常的にあるいは緊急時などで子どもをみてもらえる人間関係は、親族が第一にあり、次いで友人・知人をあげる。一方、そうした関係を持っていない保護者が15%おり、いざという時に頼れるところがない状態にある。
- 子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所を9割の保護者が持っている。その具体的な相手は、「祖父母等の親族」74.5%、「友人や知人」82.3%で、日頃の人間関係の中で相談者を持っている。同様に保育士、幼稚園教諭、かかりつけの医者もあげている。

問9 子育てに日常的に関わっている人や施設 報告書9ページ

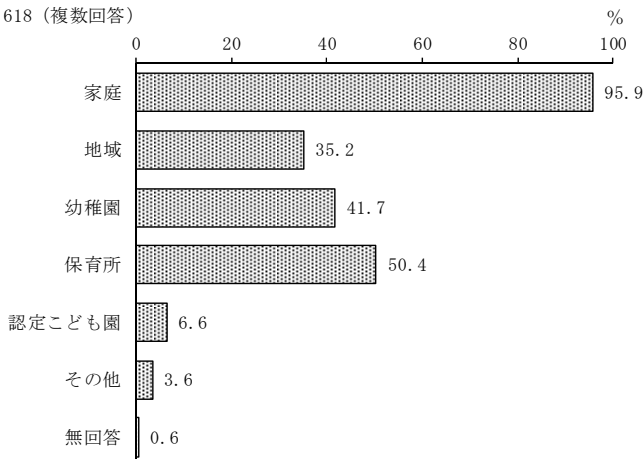
n=3,618 (複数回答)



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	3,618	100.0
父母ともに	1,985	54.9
母親	1,278	35.3
父親	131	3.6
祖父母	729	20.1
幼稚園	850	23.5
保育所	1,448	40.0
認定こども園	10	0.3
その他	121	3.3
無回答	17	0.5

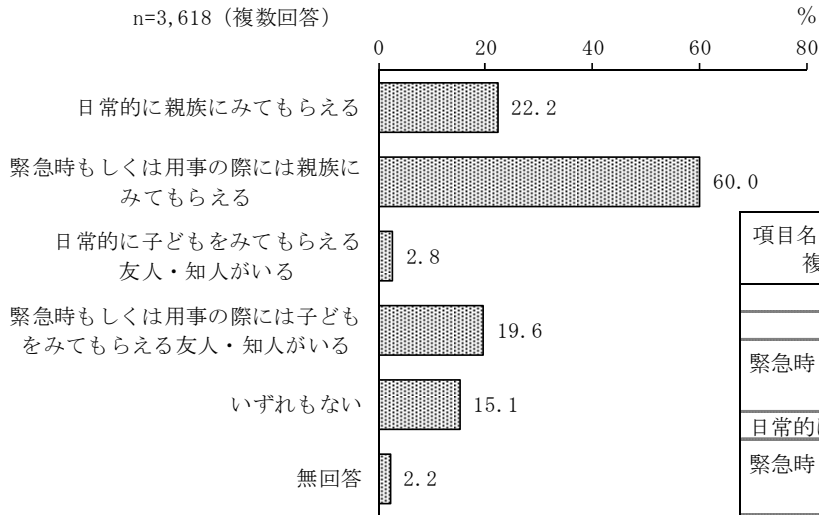
問10 影響のある子育て環境 報告書10ページ

n=3,618 (複数回答)



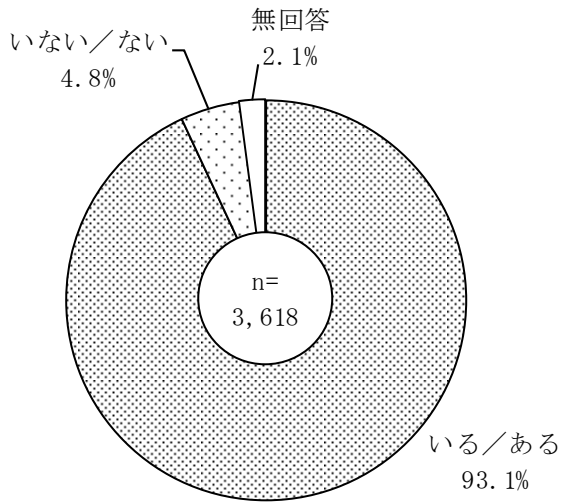
項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	3,618	100.0
家庭	3,468	95.9
地域	1,274	35.2
幼稚園	1,510	41.7
保育所	1,822	50.4
認定こども園	239	6.6
その他	129	3.6
無回答	23	0.6

問 1 1 お子さんをみてもらえる親族・知人 報告書 1 1 ページ



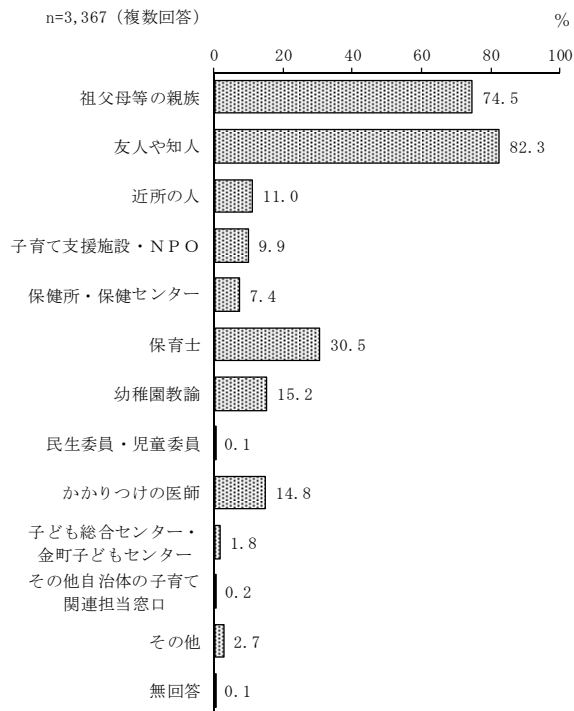
項目名 【4つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	3,618	100.0
日常的に親族可	805	22.2
緊急時・用事の際は親族可	2,169	60.0
日常的に友人・知人可	100	2.8
緊急時・用事の際は友人・知人可	709	19.6
いずれもない	548	15.1
無回答	80	2.2

問 1 2 相談できる人の有無 報告書 1 4 ページ



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	3,618	100.0
いる/ある	3,367	93.1
いない/ない	175	4.8
無回答	76	2.1

問 1 2 - 1 気軽な相談先 報告書 1 5 ページ

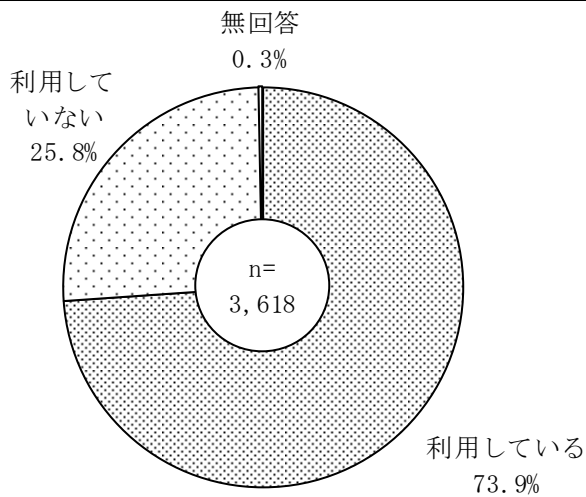


項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	3,367	100.0
祖父母等の親族	2,510	74.5
友人や知人	2,772	82.3
近所の人	372	11.0
子育て支援施設・NPO	335	9.9
保健所・保健センター	249	7.4
保育士	1,028	30.5
幼稚園教諭	512	15.2
民生委員・児童委員	3	0.1
かかりつけの医師	497	14.8
子ども総合センター・金町子どもセンター	62	1.8
区の子育て関連担当窓口	8	0.2
その他	92	2.7
無回答	4	0.1

3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

- 幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」の利用については、7割以上の保護者が利用しているが、一方で2割強の保護者は利用していない。
- 利用している場合の具体的なものは、「認可保育所」51.7%、「幼稚園」38%である。区が提供している他の事業の利用率は低い状況にある。
- 「定期的な教育・保育の事業」を利用していない理由を見ると、「利用する必要がない」と「子どもはまだ小さい」をあげる。中には「教育・保育の事業に空きがない」といった待機児童を推測させる理由や、経済的な理由もある。
- 「定期的な教育・保育の事業」の利用意向を見ると、「幼稚園」「認可保育園」に加えて、「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」「認証保育所」「ファミリー・サポート・センター」など、これまで利用率が高くなかった事業に対する利用意向が増える。また、9割の保護者が区内での利用を望む。

問17 定期的な教育・保育の事業の利用状況 報告書28ページ

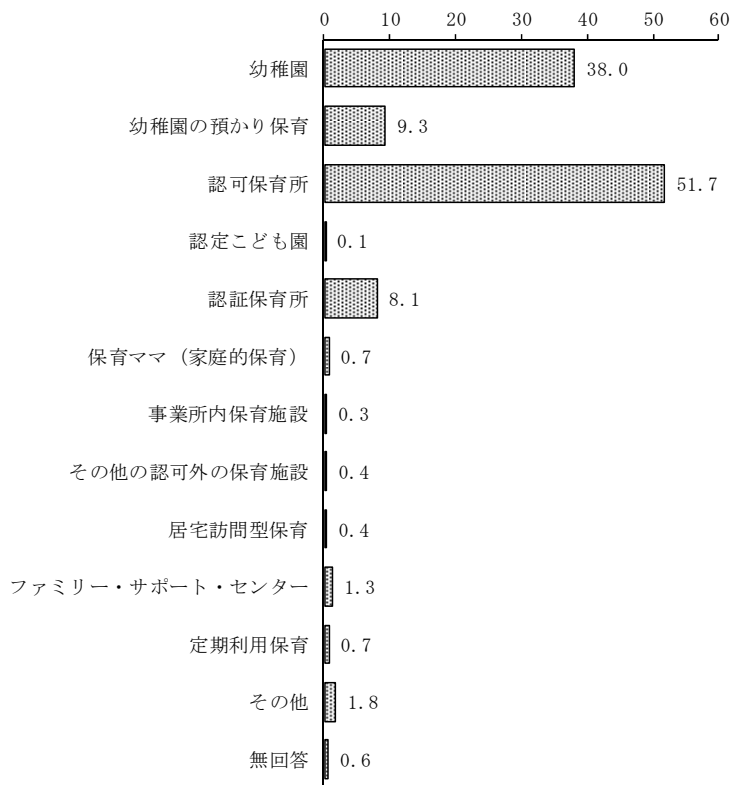


項目名	集計値	構成比 (%)
全体	3,618	100.0
利用している	2,674	73.9
利用していない	933	25.8
無回答	11	0.3

問17-1 利用している定期的な教育・保育の事業 報告書29ページ

n=2,674 (複数回答)

%

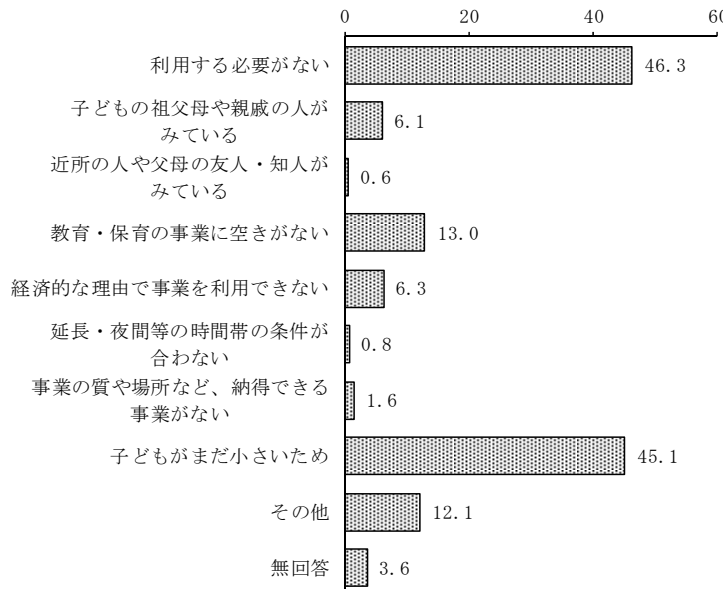


項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	2,674	100.0
幼稚園	1,017	38.0
幼稚園の預かり保育	249	9.3
認可保育所	1,382	51.7
認定こども園	4	0.1
認証保育所	216	8.1
保育ママ	19	0.7
事業所内保育施設	9	0.3
その他の認可外の保育施設	10	0.4
居宅訪問型保育	10	0.4
ファミリー・サポート・センター	34	1.3
定期利用保育	19	0.7
その他	48	1.8
無回答	16	0.6

問17-5 定期的な教育・保育の事業を利用していない理由 報告書37ページ

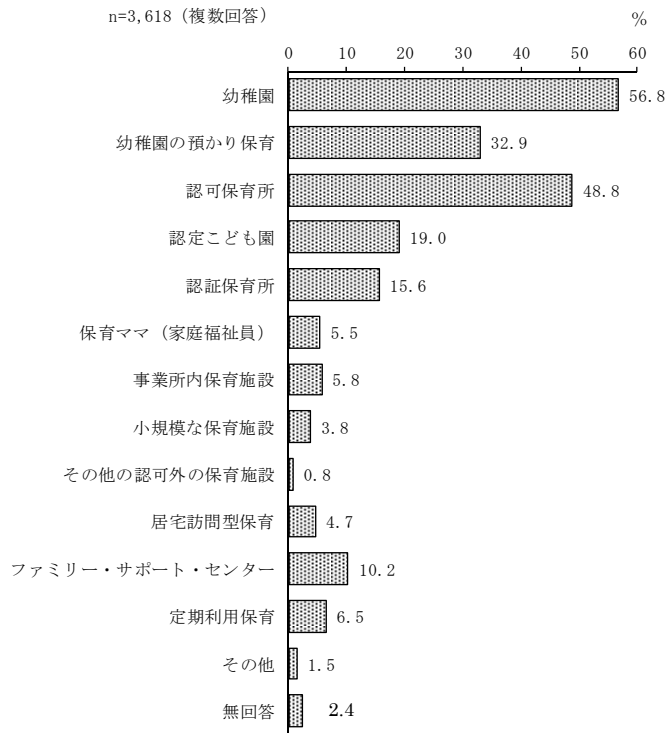
n=993 (複数回答)

%



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	993	100.0
利用する必要がある	432	46.3
子どもの祖父母や親戚の人がみている	57	6.1
近所の人や父母の友人・知人がみている	6	0.6
教育・保育の事業に空きがない	121	13.0
経済的な理由で事業を利用できない	59	6.3
延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	7	0.8
納得できる事業がない	15	1.6
子どもがまだ小さい	421	45.1
その他	113	12.1
無回答	34	3.6

問 18 利用したい定期的な教育・保育事業 報告書 39 ページ

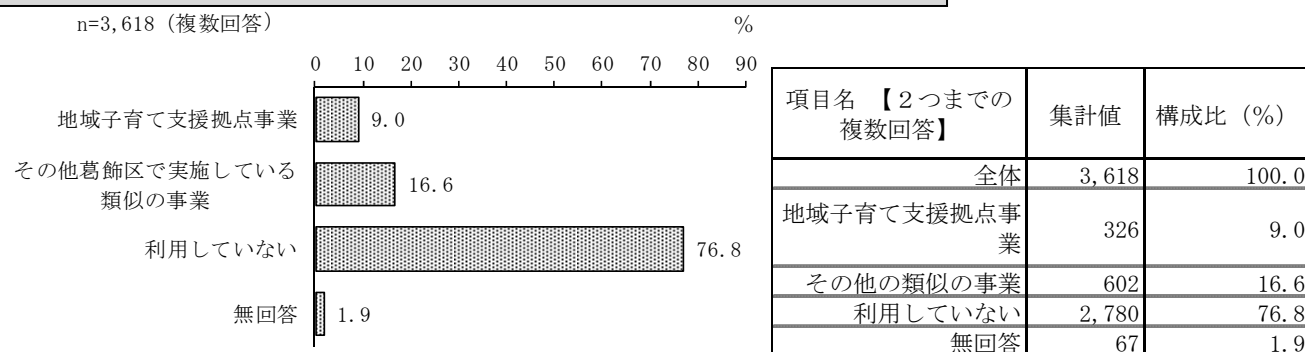


項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	3,618	100.0
幼稚園	2,054	56.8
幼稚園の預かり保育	1,191	32.9
認可保育所	1,765	48.8
認定こども園	686	19.0
認証保育所	563	15.6
保育ママ	198	5.5
事業所内保育施設	209	5.8
小規模な保育施設	139	3.8
その他の認可外の保育施設	29	0.8
居宅訪問型保育	169	4.7
ファミリー・サポート・センター	370	10.2
定期利用保育	236	6.5
その他	55	1.5
無回答	88	2.4

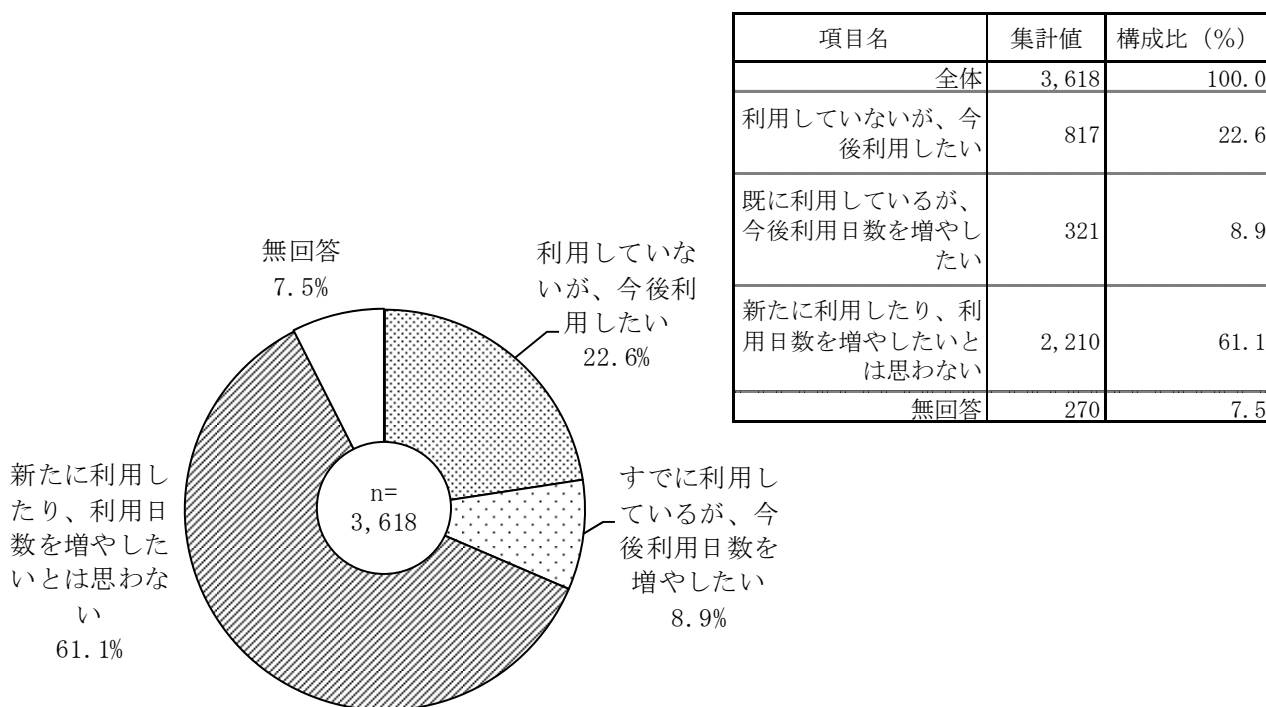
4. 地域の子育て支援事業（子育てひろば）の利用状況について

- 「子育てひろば」については、8割近い保護者が利用していない。
- 今後の利用意向を見ると、「利用していないが、今後利用したい」保護者が2割強いる一方で、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」といった現状維持（実質的には利用しない）の保護者が6割となる。また、「既に利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と望む保護者は1割弱いる。

問19 利用している地域子育て支援拠点事業 報告書41ページ



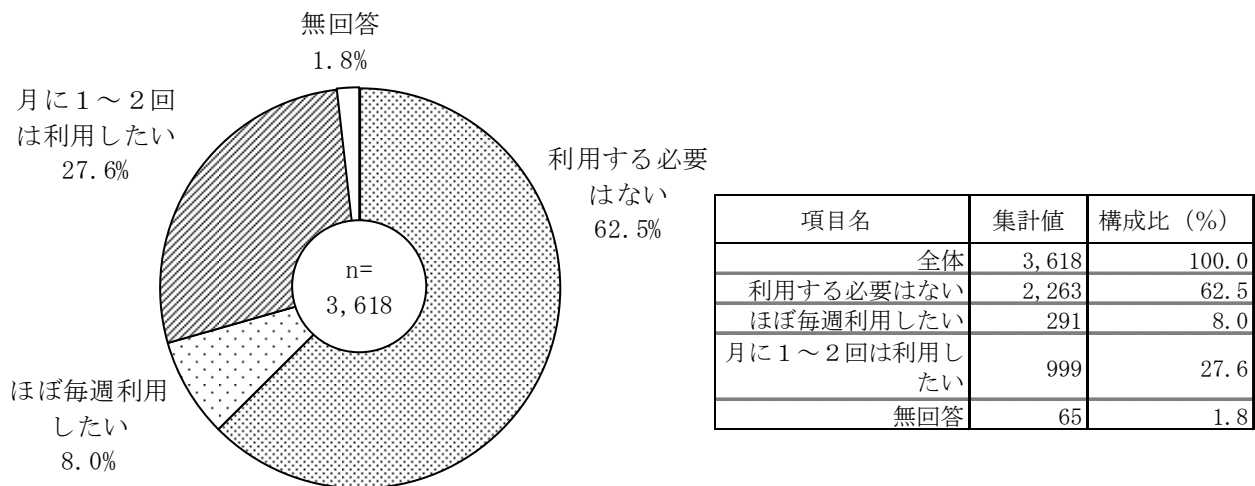
問20 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向 報告書44ページ



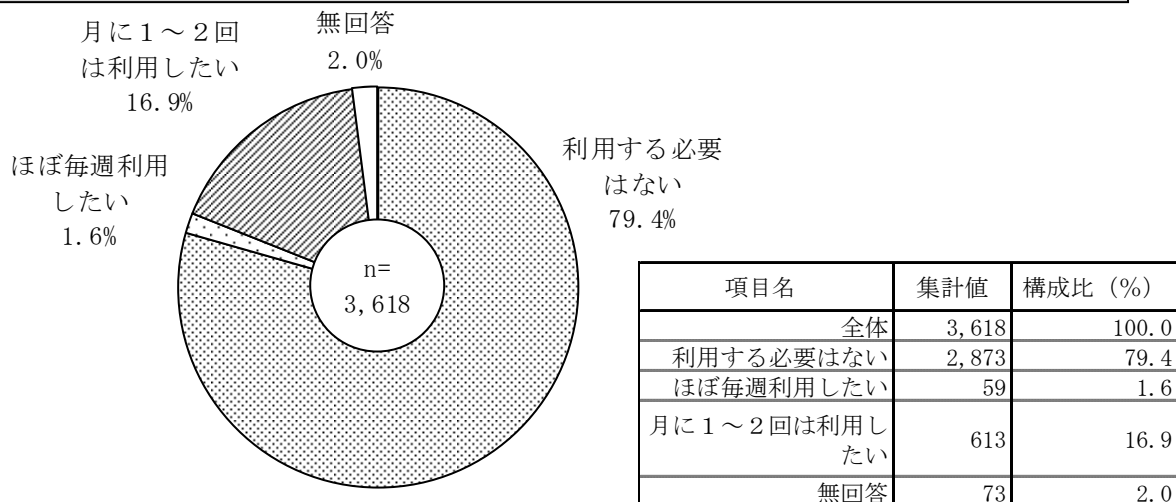
5. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

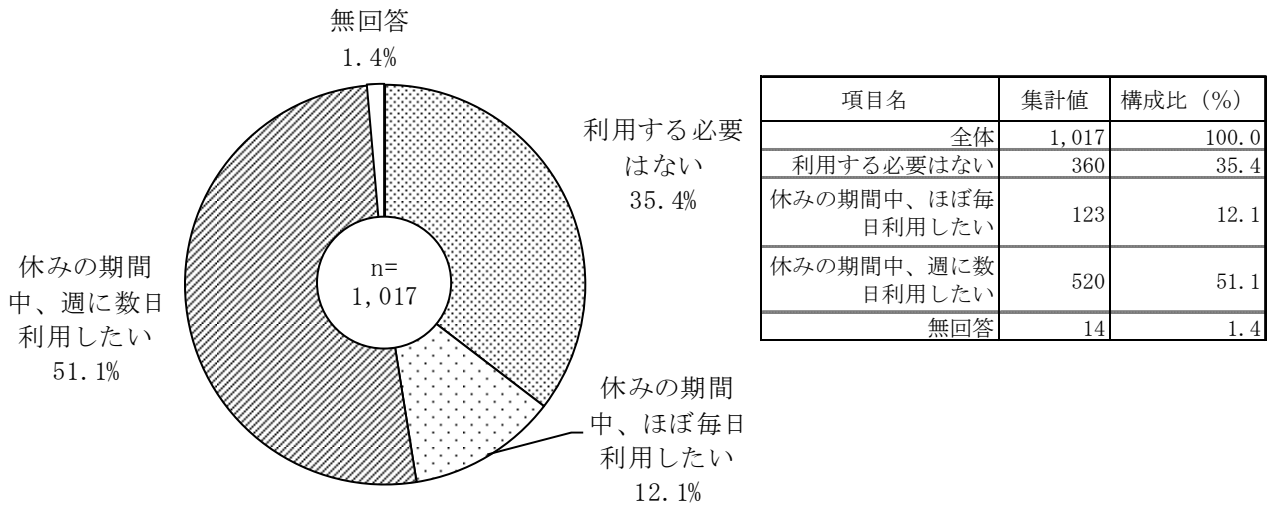
- 土曜日における定期的な教育・保育の事業の利用希望を見ると、「利用する必要はない」保護者が6割強となる。一方、利用意向のある保護者では「月に1～2回は利用したい」が3割弱、「ほぼ毎週利用したい」が1割弱となる。頻度は別として、3割を超える保護者に土曜日での定期的な利用希望がある。
- 日曜日・祝日の場合では、「利用する必要はない」保護者が8割となる。一方で「月に1～2回は利用したい」保護者が2割弱いる。
- 幼稚園に対象児童を通わせている保護者における夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望を見ると、「利用する必要はない」35.4%であるが、一方で「休みの期間中、週に数日利用したい」51.1%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」12.1%と利用希望する保護者のほうが多い。

問22 ① 定期的な教育・保育事業の土曜日の利用希望 報告書50ページ



問22 ② 定期的な教育・保育事業の日曜・祝日の利用希望 報告書52ページ

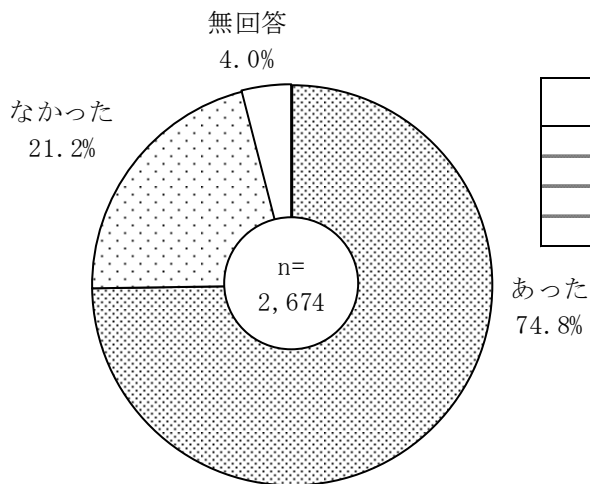




6. 子どもの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

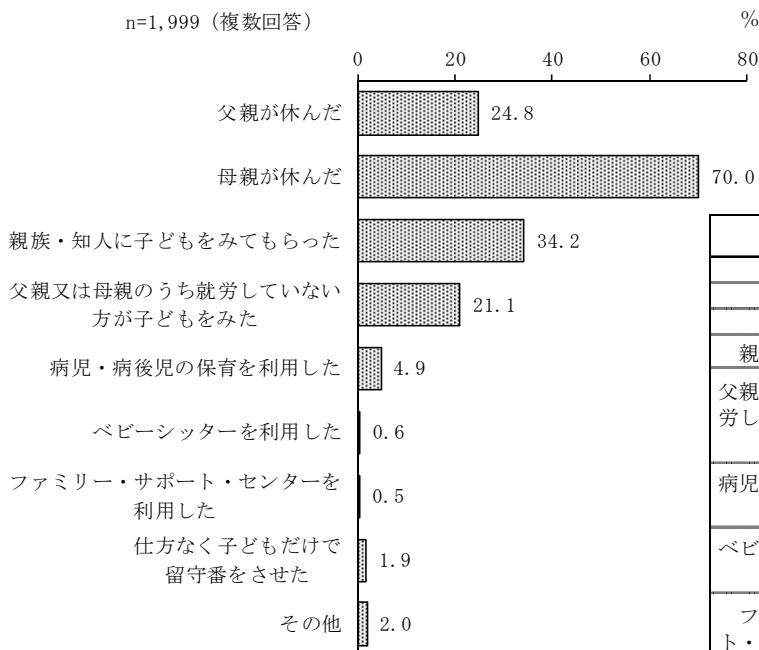
- 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している保護者について、子どもの病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった経験を見ると、7割を超える保護者でそれを経験している。
- その場合、「母親が休んだ」が7割、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」（実質的に母親）が2割、「父親が休んだ」が2割強と、大抵の場合、保護者で子どもを看ている。加えて「親族・知人に預けた」が3割強である。一方で社会的なサービスの利用は殆どない。

問24 病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと 報告書58ページ



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	2,674	100.0
あった	1,999	74.8
なかった	568	21.2
無回答	107	4.0

問24-1 病気やケガで通常の事業が利用できなかった時の対処方法 報告書59ページ

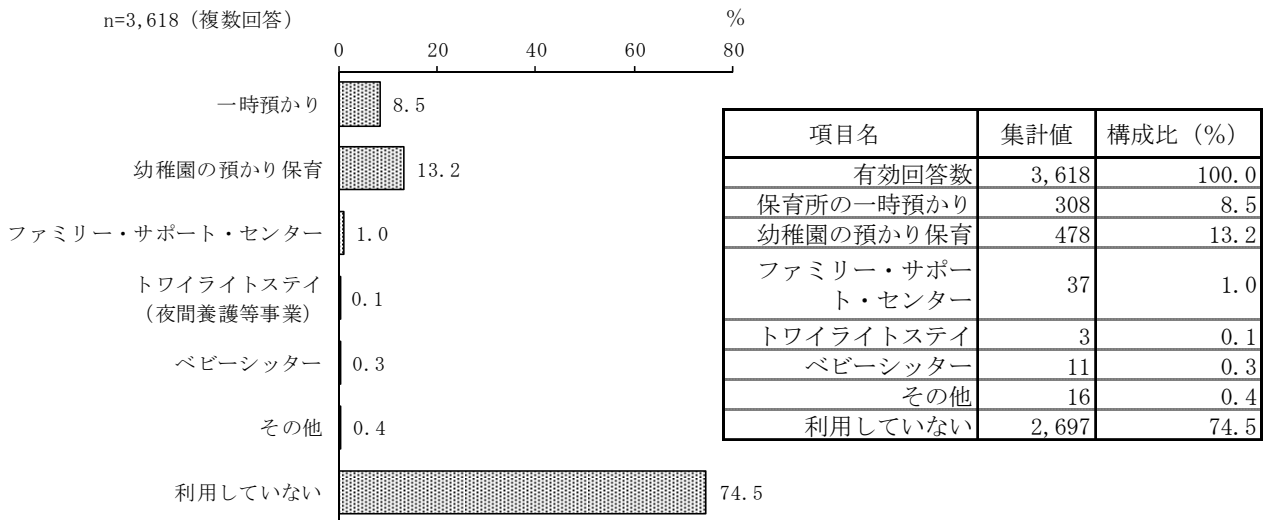


項目名	集計値	構成比 (%)
有効回答数	1,999	100.0
父親が休んだ	495	24.8
母親が休んだ	1,400	70.0
親族・知人に預けた	683	34.2
父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た	421	21.1
病児・病後児の保育を利用した	97	4.9
ベビーシッターを利用した	11	0.6
ファミリー・サポート・センターを利用した	10	0.5
仕方なく子どもだけで留守番させた	38	1.9
その他	40	2.0

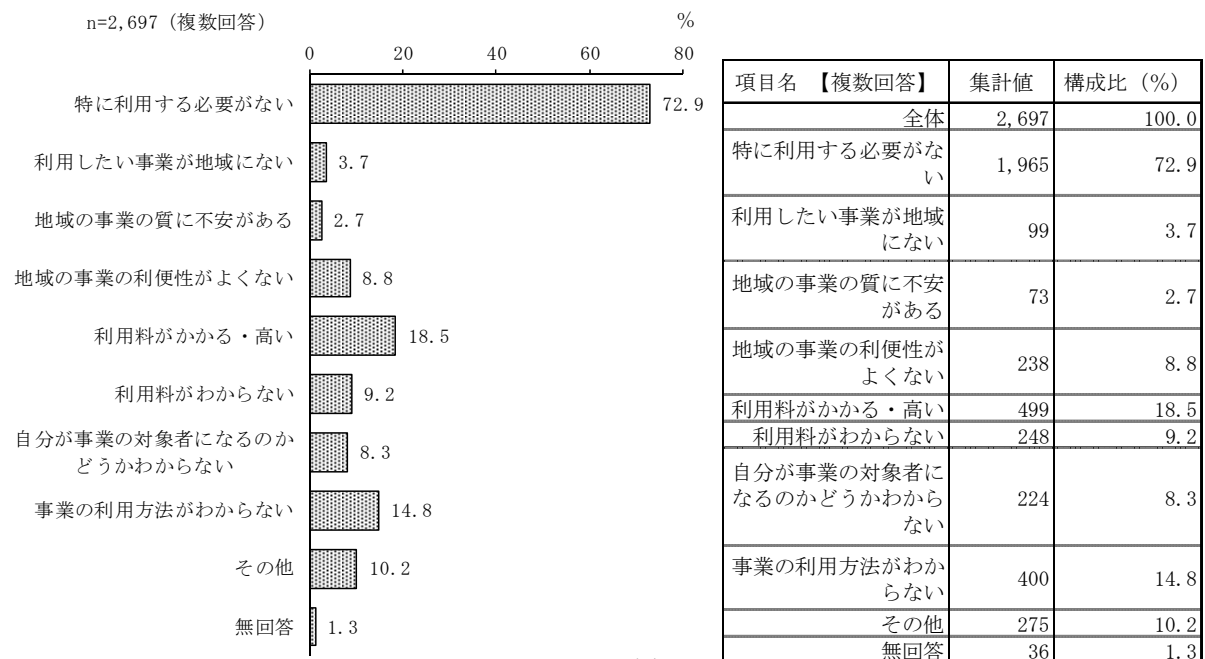
7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

- 保護者の私用、親の通院、不定期に仕事に就く等の目的で不定期に利用している事業については、「幼稚園の預かり保育」「保育所の一時預かり」の利用はあるが、7割を超える保護者が利用していない。
- 利用していない理由を見ると、「特に利用する必要がない」が7割を超える。一方で、「利用料がかかる・高い」「事業の利用方法がわからない」「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」などの理由から、事業の潜在的な利用意向が妨げられている可能性が推測される。
- 教育・保育事業の不定期的な利用意向を見ると、「利用したい」44.7%、「利用する必要はない」43.4%と二分される。利用する場合は、保護者の私用やリフレッシュ、冠婚葬祭・学校行事・子どもや親の通院等の目的が多いが、保護者の不定期の就労も目的にあげている。また、その場合、幼稚園・保育所等（大規模施設）の利用意向が多い。

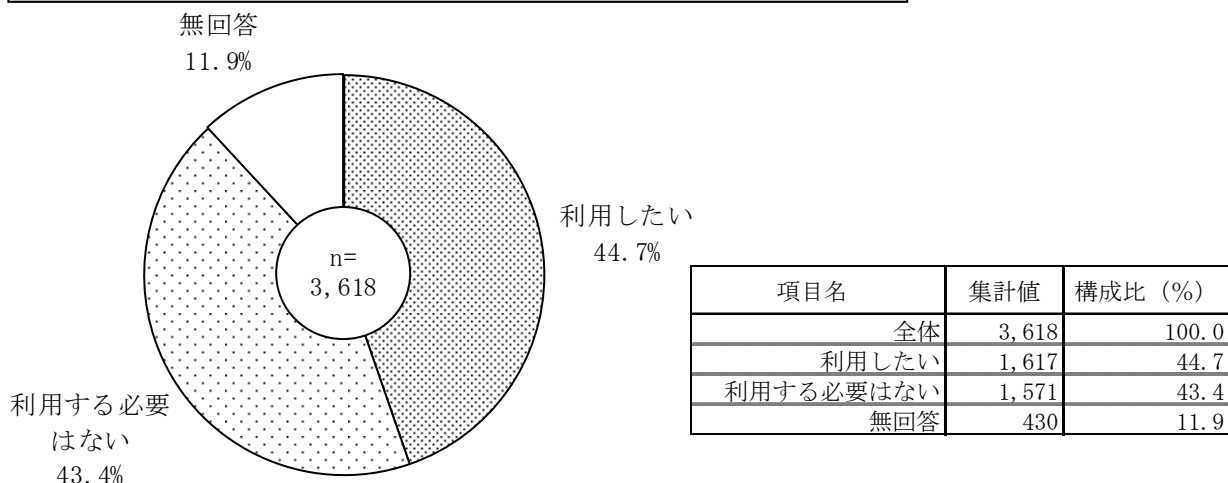
問25 不定期事業の利用状況 報告書68ページ



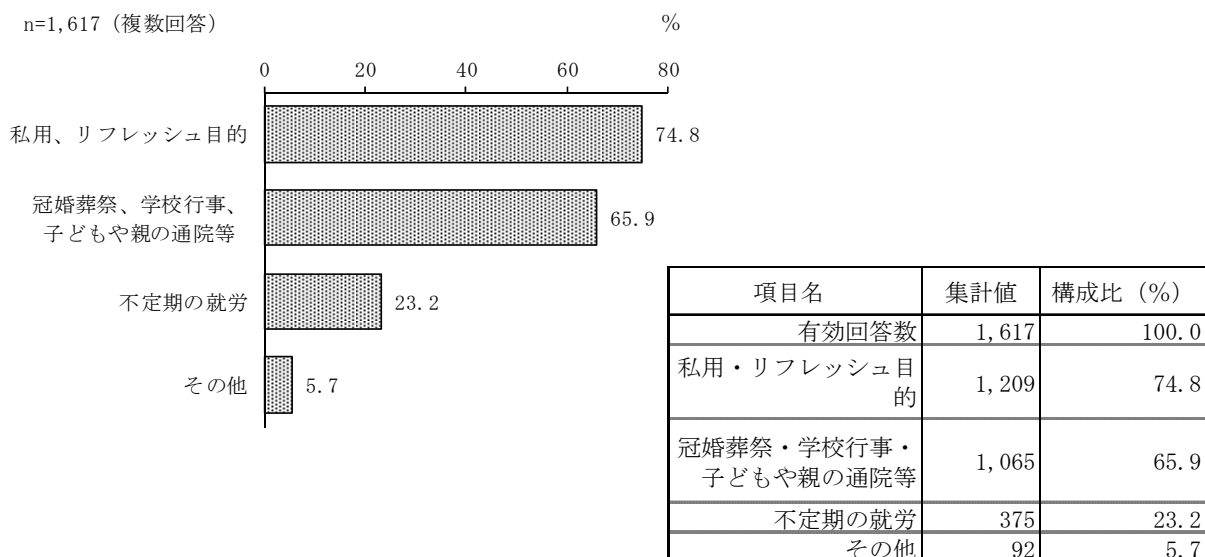
問25-1 教育・保育事業を現在利用していない理由 報告書70ページ



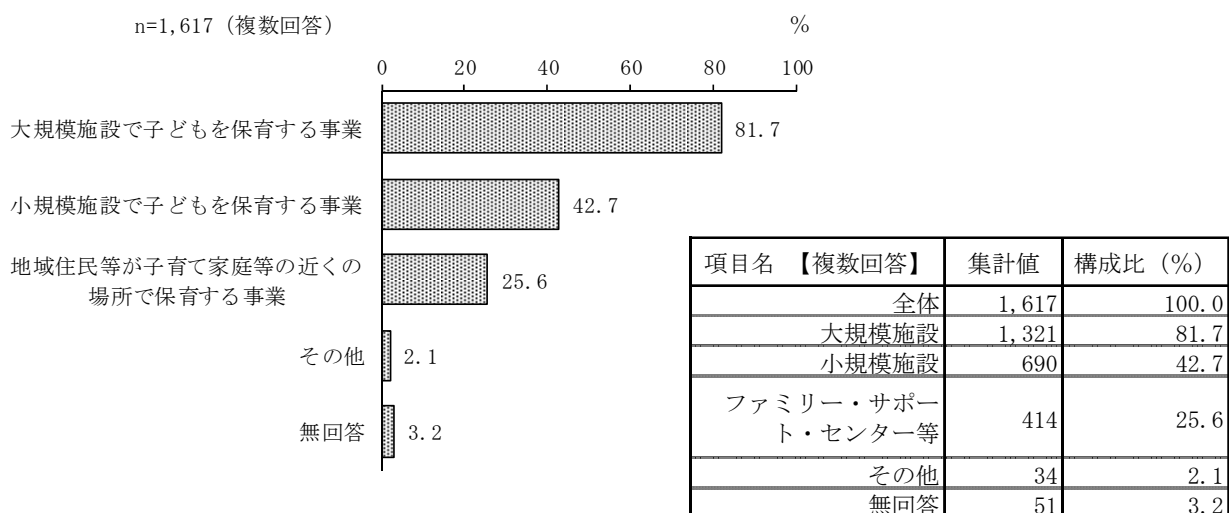
問 2 6 教育・保育事業の不定期利用希望の有無 報告書 7 1 ページ



問 2 6 教育・保育事業の利用希望目的 報告書 7 1 ページ



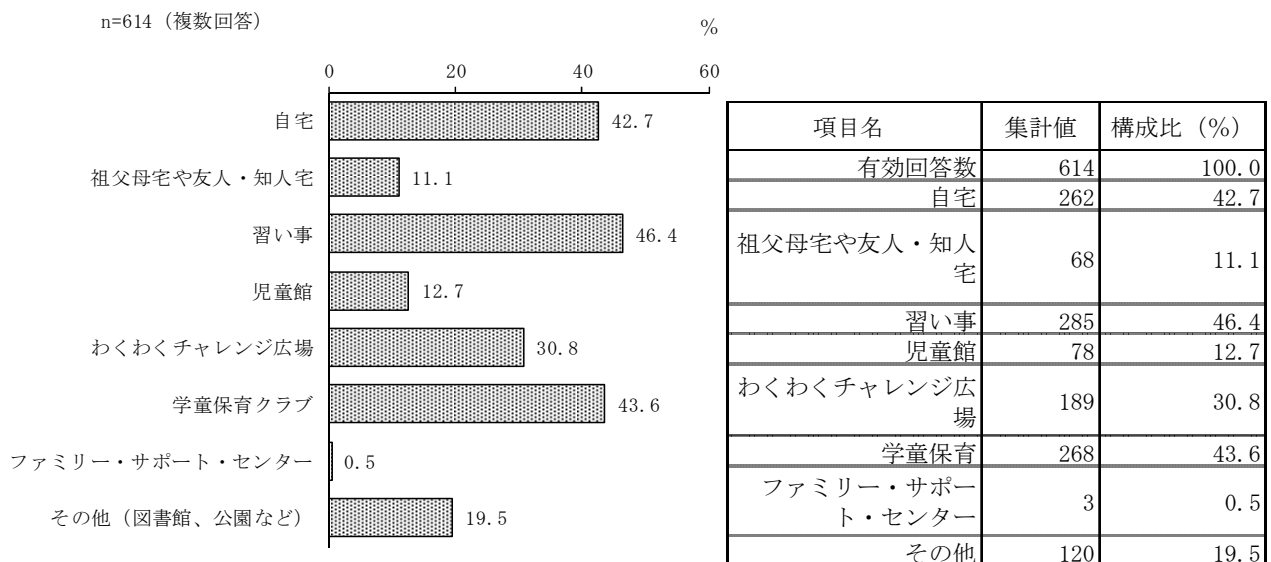
問 2 6 - 1 利用希望事業形態 報告書 7 3 ページ



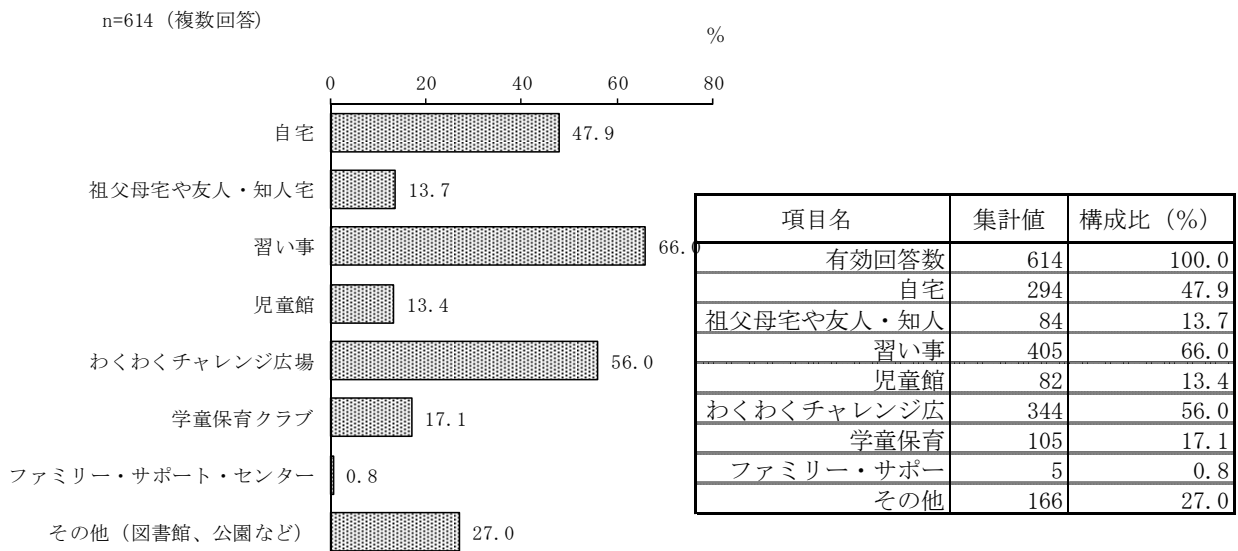
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（子どもが5歳以上の方）

- 子どもが5歳以上の保護者における小学校低学年時の放課後の過ごし方希望を見ると、「自宅」「習い事」「学童保育」を多くの保護者があげ、次いで「わくわくチャレンジ広場」となる。
- 同様に小学校高学年時での希望を見ると、「自宅」は変わらないが、「習い事」の希望が増え、「学童保育」の代わりに「わくわくチャレンジ広場」の希望が増える。
- 学童保育の利用希望がある保護者について土曜日の利用希望を見ると、「利用する必要がない」が5割となるが、低学年の間が2割強、高学年でも1割強と利用希望がある。
- 同様に日曜日の場合では、「利用する必要がない」が7割を超える。
- 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育クラブの利用希望を見ると、低学年と高学年を合わせて利用希望が5割程度となっている。

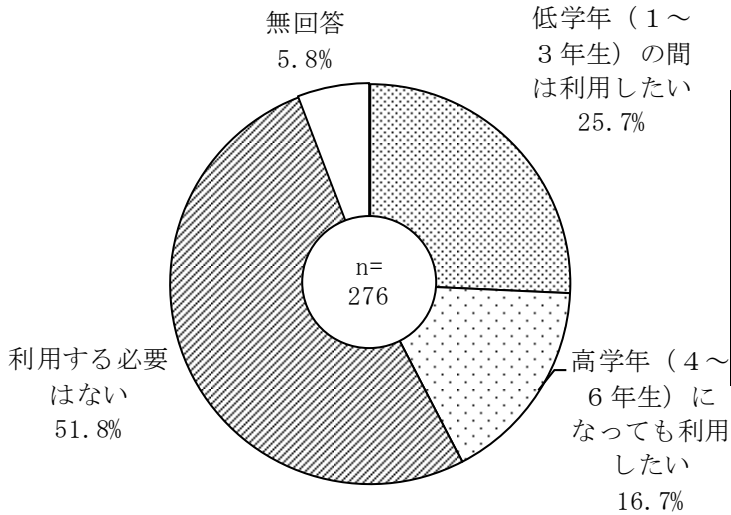
問28 小学校低学年 希望する放課後の過ごし方 報告書77ページ



問29 小学校高学年 希望する放課後の過ごし方 報告書80ページ

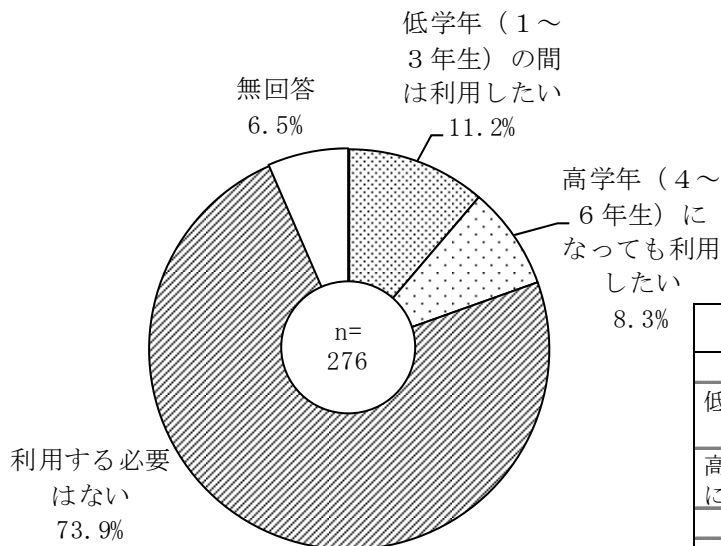


問30 学童保育の利用希望 ①土曜日 報告書83ページ



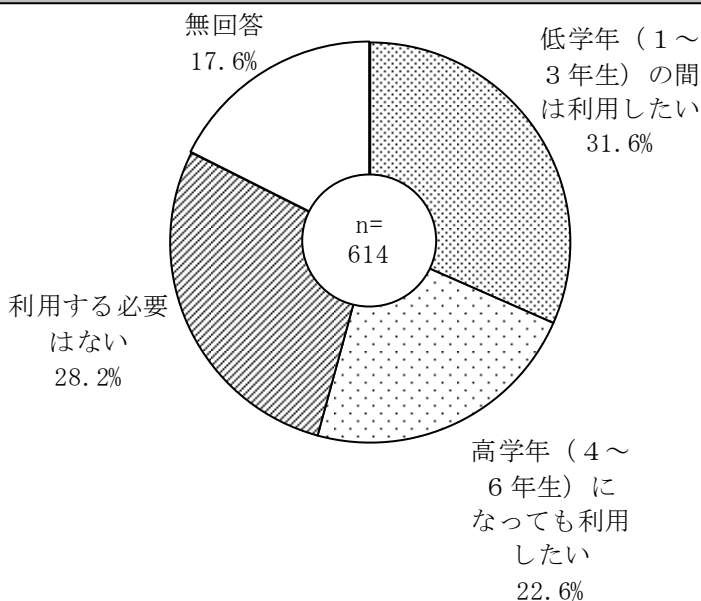
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	276	100.0
低学年（1～3年生）の間は利用したい	71	25.7
高学年（4～6年生）になっても利用したい	46	16.7
利用する必要はない	143	51.8
無回答	16	5.8

問30 学童保育の利用希望 ②日曜日 報告書85ページ



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	276	100.0
低学年（1～3年生）の間は利用したい	31	11.2
高学年（4～6年生）になっても利用したい	23	8.3
利用する必要はない	204	73.9
無回答	18	6.5

問31 学童保育「長期休暇中」の利用意向 報告書87ページ

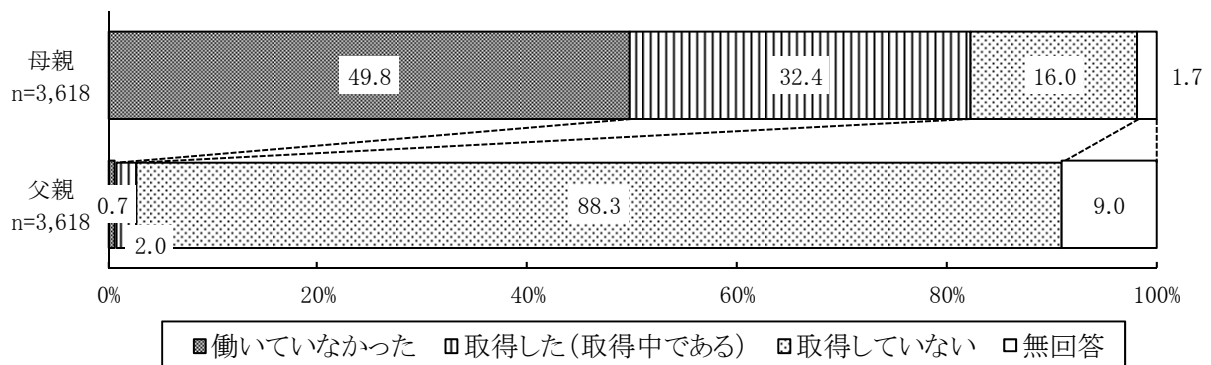


項目名	集計値	構成比 (%)
全体	614	100.0
低学年（1～3年生）の間は利用したい	194	31.6
高学年（4～6年生）になっても利用したい	139	22.6
利用する必要はない	173	28.2
無回答	108	17.6

9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

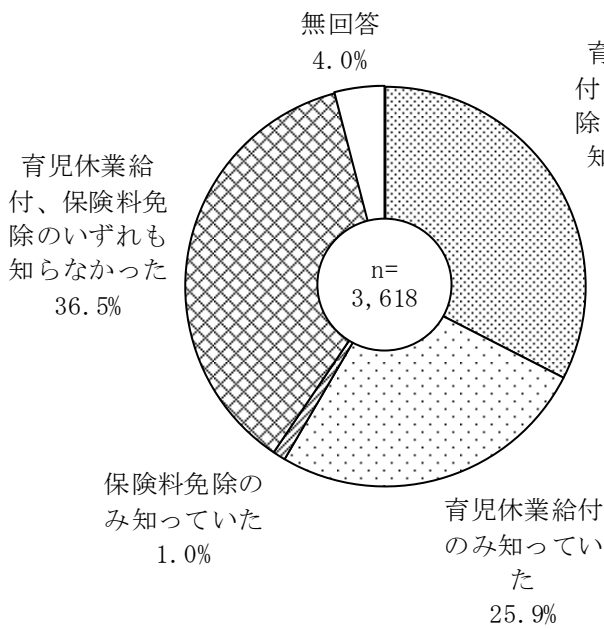
- 対象児童が誕生した際の育児休業の取得状況を見ると、母親の場合、「働いていなかった」が5割で、「取得した」が3割強、「取得していない」が2割弱である。父親については「取得していない」が9割である。
- 育児休業給付及び保険料免除に係る認知状況を見ると、「いずれも知っていた」32.5%、「育児休業給付のみ知っていた」25.9%、「いずれも知らなかった」36.5%になる。6割以上の保護者が情報不足の為、何らかの不利益を知らないうちに被っていたことになる。
- 育児休業取得後に「職場に復帰した」母親が8割弱である。一方で離職した母親が6.1%いる。
- 職場復帰の母親についてその時期を見ると、年度初めの入所に合わせた母親が7割近くおり、それ以外の時期の母親は3割となる。職場復帰の時期が希望より早かった母親について理由を見ると、「希望する保育所に入るため」が7割となる。遅かった母親では「希望する保育所に入れなかったため」が7割近くとなる。これにより働く母親の職場復帰の時期は保育所が大きな鍵となっているのが判る。

問32 育児休業の取得状況 報告書89ページ



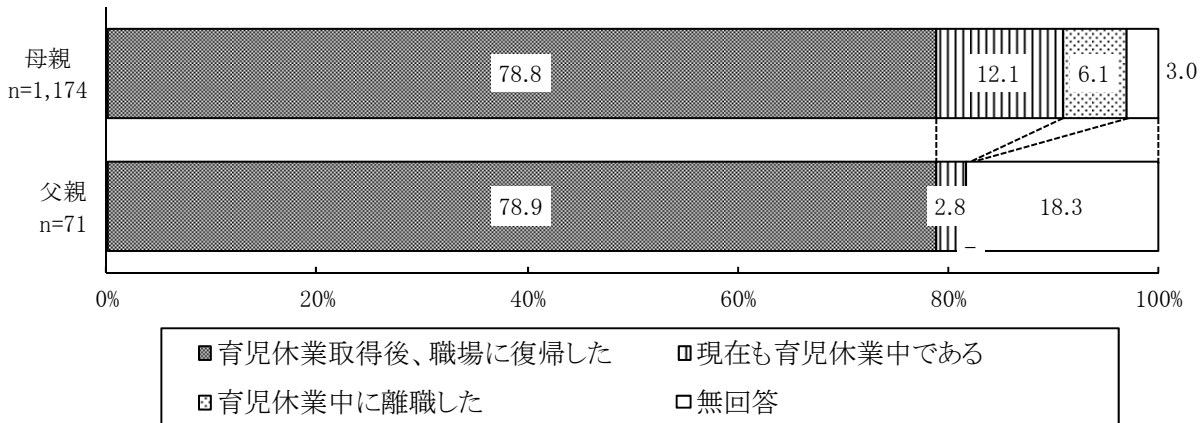
項目名	母親		父親	
	集計値	構成比 (%)	集計値	構成比 (%)
全体	3,618	100.0	3,618	100.0
働いていなかった	1,803	49.8	27	0.7
取得した	1,174	32.4	71	2.0
取得していない	578	16.0	3,193	88.3
無回答	63	1.7	327.0	9.0

問32-1 育児休業給付、保険料の免除の認知状況 報告書91ページ



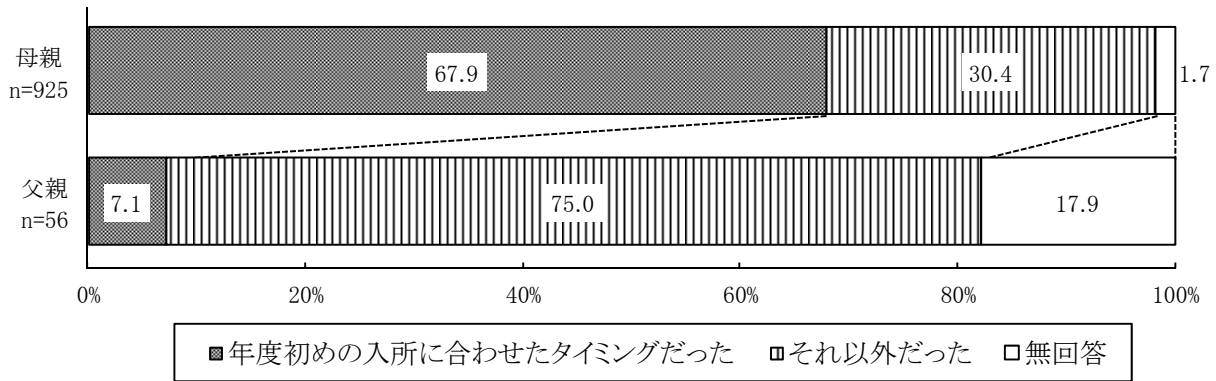
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	3,618	100.0
育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	1,177	32.5
育児休業給付のみ知っていた	936	25.9
保険料免除のみ知っていた	37	1.0
育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	1,322	36.5
無回答	146	4.0

問32-2 育児休業の取得後、職場に復帰しましたか 報告書92ページ



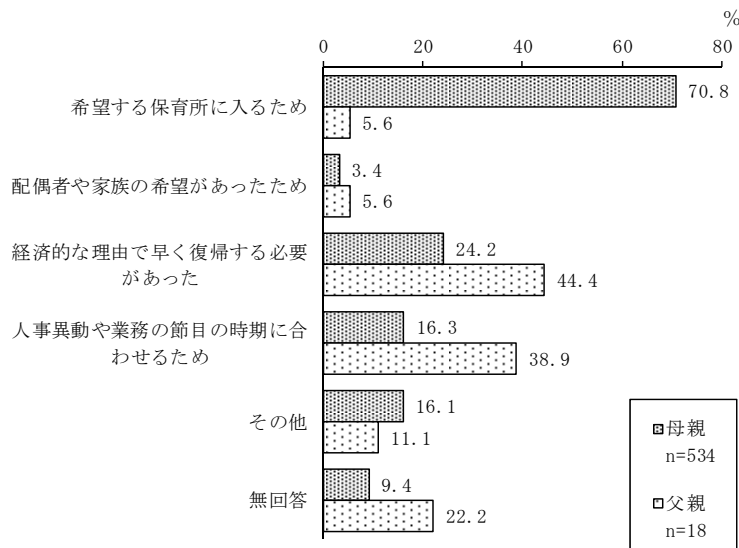
項目名	母親		父親	
	集計値	構成比 (%)	集計値	構成比 (%)
全体	1,174	100.0	71	100.0
育児休業取得後、職場に復帰した	925	78.8	56	78.9
現在も育児休業中である	142	12.1	2	2.8
育児休業中に離職した	72	6.1	-	-
無回答	35	3.0	13	18.3

問3 2-3 育児休業から職場に復帰したタイミング 報告書93ページ

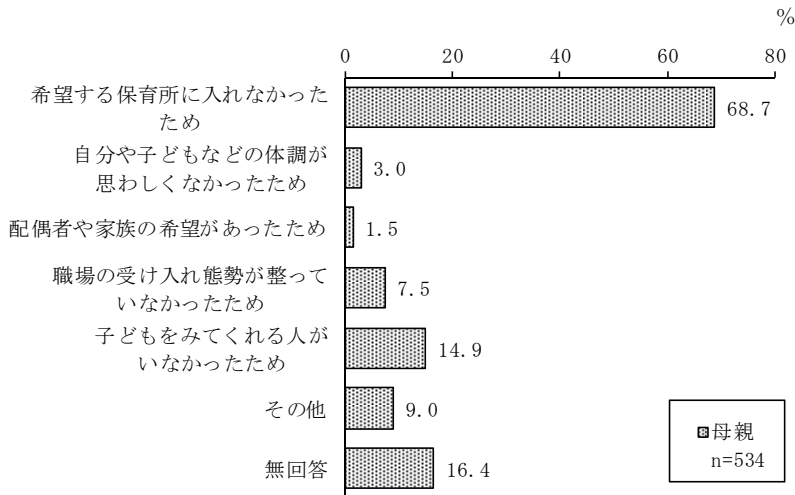


項目名	母親		父親	
	集計値	構成比 (%)	集計値	構成比 (%)
全体	925	100.0	56	100.0
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	628	67.9	4	7.1
それ以外だった	281	30.4	42	75.0
無回答	16	1.7	10	17.9

問3 2-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由 ①希望より早く職場復帰 報告書97ページ



項目名 【複数回答】	母親		父親	
	集計値	構成比 (%)	集計値	構成比 (%)
全体	534	100.0	18	100.0
希望する保育所に入るため	378	70.8	1	5.6
配偶者や家族の希望があったため	18	3.4	1	5.6
経済的な理由で早く復帰する必要があった	129	24.2	8	44.4
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	87	16.3	7	38.9
その他	86	16.1	2	11.1
無回答	50	9.4	4	22.2



項目名 【複数回答】	母親		父親	
	集計値	構成比 (%)	集計値	構成比 (%)
全体	67	100.0	-	*
希望する保育所に入れなかったため	46	68.7	-	*
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2	3.0	-	*
配偶者や家族の希望があったため	1	1.5	-	*
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	5	7.5	-	*
子どもをみてくれる人がいなかったため	10	14.9	-	*
その他	6	9.0	-	*
無回答	11	16.4	-	*

○未就学児童の保護者アンケートにおける自由意見（主なもの）

【「良いこと、嬉しいこと、楽しいこと」】

- ・葛飾区は子育てしやすいと思う。
- ・病院なども多く、児童館、幼稚園、保育園などの施設が充実している。
- ・居宅訪問型保育を受けているが、幼稚園から先生が来て、通院する際に、非常に役立っている。子どもも来てくれる日を楽しみに待っている。
- ・予約入園は本当に良い制度。
- ・医療費免除や自転車購入の補助など本当に子育てしていて助かる。
- ・もっと「子育てしやすいまち」を全国にPRしたら良いと思う。
- ・利用している保育園・学童の先生が皆さんすばらしい方達で、相談も聞いて頂き大変助かっている。安心。
- ・土曜日に一人で子どもをみていたため、子育てひろばが開所していてとても助かった。
- ・居住している地域は比較的保育所、学童クラブに入りやすいように感じる。
- ・古い公園の遊具が新しくなっていること。安心して、子どもを楽しく遊ばせられる。
- ・公園が多い。水元公園があるのはいいと思う
- ・色々な区の事業があり、楽しそうな物が多い。育児の相談窓口もあり安心。
- ・乳幼児の健診時に、保健センターで職員の人と話をすることが有ること。こんには赤ちゃん訪問事業では、出生の浅い日に、赤ちゃんの様子や母親の状態等をみってくれること。悩みを相談でき救われた。
- ・ブックスタートで絵本がもらえ、子どもが喜ぶ。
- ・育児休業中は、よく児童館に行き、色々なイベントが催され、他のお母さん達との交流もでき楽しかった。そういった工夫が、いくつもの児童館や図書館などで行われているのが良い。
- ・未来わくわく館や郷土と天文の博物館など施設が多いのも嬉しい。
- ・気さくな高齢者が多く、あいさつや声をかけてくださるのがありがたいことだと感じる（ちょっとした注意も含めて）。下町、昔ながらの近所付き合いなどが、比較的、残っている区だと思う。
- ・赤ちゃん子育ての会、2ヵ月児の会等があるので、ママ友達をつくることができ、よかった。共に、子育てする仲間ができ、1人で悩むことなく子育てができています。
- ・検診に行っていないと連絡をもらえることはすばらしい。
- ・第一子の時は妊婦健診も毎回自腹だったが、第三子の時はほぼ区からの助成だったので大変助かった。
- ・奥戸スポーツセンターでのスポーツコースは子どもの運動をさせるのに低価格でいろいろなコースがあるので、親子で楽しめる。
- ・小学校の放課後も地域のボランティアの方がみっていてすばらしい。
- ・以前よりも公的機関の相談窓口が増えた様に思う。また、保育所の先生の対応も良くなった。
- ・育児相談をした時、たくさんの答えをもらったことが嬉しく、子育てに寄り添ってもらっていると感じた。

【「不満なこと、困っていること」】

- ・幼稚園代が高いこと。出産費用、幼稚園代がもう少し安くなれば、子どもを産む人も増えると思う。
- ・言葉の発達や体の発達について、3才前にも、少し気楽に相談に行ける所があるとうれしい。
- ・1歳児での入園になる場合（特に2月～3月生まれの児童）で保育園の空き枠が少ないこと。
- ・出産時や緊急時預けられる施設がない。一時預かり等も事前登録制、登録料を払うこととなると利用しにくい。
- ・保育園について、まだまだ預かってもらえる場所が足りない。

- ・予約入園できる保育園を増やしてほしい。
- ・(保育園について) 延長保育利用料のかからない、基本保育時間をのばしてほしい。
- ・保育園によって条件が様々で、入園前に各園の情報を知る機会がなかったので、アタリ、ハズレがあるように思う。
- ・病児保育(病後児ではなく)の充実をしてほしい。
- ・保育園の保育時間(夜の預かり時間)が延長しても19:15まででは、あまりにも少ないと思う。これでは残業ができない。
- ・公立保育園に通わせているが、行事は平日ばかりにあり仕事を休まなければならない。仕事のない日、時間は預ってもられない。
- ・区立保育所の保育内容を教育的なものも多く取り入れてほしい。
- ・育休中の保育園転園が出来ないのはおかしいと思う。
- ・保育所・児童の就労証明の提出は同時期、もしくは1通で両方できるようにしてほしい。
- ・児童保育クラブは6年生まで対象を拡大してほしい。三期休暇中だけでも預かってほしい。三期休暇中の子どもの預かり時間を早めてほしい。
- ・わくチャレが他校の生徒が利用出来ないこと。
- ・(こんにちは赤ちゃん事業について) 保健所にも出生届のハガキを出すことが二度手間と思う。区に届けているので、そこから保健所に連絡した方が確実と思われる。
- ・幼稚園の延長ももう少し利用しやすい様に料金を下げてもらうなどしてもらえると助かる。
- ・親にも、リフレッシュの時間は必要だから、その様な場合でも利用しやすい場所が増えれば、子どもの数も増えていくと思う。
- ・病児保育・病後児保育の定員が少なく預けられない。施設を増やすか当日の受入れをしてほしい。
- ・産休・育休中も通常保育の時間の利用をさせてほしい。
- ・慣らし保育の期間中の保育時間は、もっとフレキシブルに対応してほしい。
- ・病後児保育は、小児科が併設されている施設をもっと増やしてほしい。
- ・育休も一年取得したかったが、4月入園しないと入所が難しくなるので早めたのが心残り。
- ・予防接種は金銭的に負担が大きい。費用の無料化または助成化をしてほしい。1才児検診も自費で残念。
- ・相談にいくと、お母さんの接し方がわるいという助言が多く、落ち込む。プロとして言い方や、助言方法も勉強して、行ってよかったと思える場がほしい。
- ・土日にリフレッシュしたり、子供と遊んだりするイベント情報がほしい。
- ・会社(民間は特に)が、休みをとりやすくしてくれる制度がほしい。
- ・共働き夫婦が安心して働けるように働きかけて(組織づくり、ネットワークづくり)ほしい。
- ・園の運動会などを近隣住民に理解してもらえるような地域でのコミュニケーションが必要。
- ・ボール遊び禁止の公園が多いので、もう少しのびのび遊べる場所があっても良い。
- ・ベビーカーで生活がしづらい(エレベーターがない等)
- ・子連れで行きやすい店が少ない。子供の物を買える店が近くにない。
- ・歩道の確保が少なく、車道に出ないと通行できないので危ないところが多い。
- ・どうしても早くお迎えに行けない場合、その時だけでも預って欲しい時がある(緊急時を除く)。
- ・児童館をもっと赤ちゃんが来られるような環境にしてほしい。
- ・建物(児童館、保育園、小学校)が古くて、預けるのが心配。施設の建替えをしてほしい。せめてトイレは新しくしてほしい。

【その他ご意見やご要望など】

- ・保育園と小学校の横のつながりを密にして、子ども達の成長を助ける体制にしてほしい。
- ・幼・保一体の施設を増やしてほしい（認定こども園）。
- ・預かり料金を払わず、9：00～15：00ぐらいまで幼稚園で預かってほしい。
- ・区内どこに住んでいてもある程度の平等な利用機関を整えてもらいたい。
- ・保育所の入園基準について、就労期間も大事だが、収入も考慮してほしい。
- ・きょうだいと同じ園に通えるようにしてほしい。
- ・病児・病後児保育施設と、既存の保育園との連携をお願いしたい。
- ・延長保育がその日毎に申請できると助かる。
- ・学童保育を通学している学校内に作って欲しい。
- ・わくわくチャレンジ広場は、一番必要な1年生が使えずあまり意味を感じない。三期休暇中は利用できないため、共働き家庭等は有料の学童保育を利用するしかなく、それも枠がないことが多く困る。
- ・学童保育クラブ入会に関して、慣らしあずかりなどしてくれると子どもも助かると思う。
- ・わくチャレは、子どもの人数に対して大人が少ない。安全に見守りができるようにしてほしい。
- ・学童のない4年生以降、宿題をしたり、お弁当を食べたりする場所をもっと充実していけたら良いと思う。
- ・保健所での検診を週末にするなどして欲しい。検診の内容は一般的で保健所じゃなければ、という内容や対応ではないと思う。
- ・病児保育は、通園中（保育園児・幼稚園児）の場合は通っている保育園で病児保育をしてもらえるのが理想。
- ・未就学児が参加できるイベントがもっとあったらいいと思う。
- ・児童虐待が問題となっているが、区の事業や学校、保育園等が連携して講座や講演会などを通して普及活動・支援してほしい。
- ・通常の学童よりプラスアルファでやってくれる学童を望む家庭が多数ある。教育感度の高い区になってほしい。
- ・図書館と児童館は併設してほしい。そうすれば大きくなって通えると思う。
- ・赤ちゃんの健診（歯科等）の日程をもっと早めに出して何日か枠が欲しい。せめて2ヵ月ぐらいの余裕を。
- ・近隣の保育園の親（同じ年齢や一つ上）との交流の場がほしい。
- ・公園の遊具は新しいものは皆同じ感じなので、公園の色を出して欲しい。ボールがダメな公園でキャッチボールをしている人がいるので広場と遊具の間にネットが欲しい。